

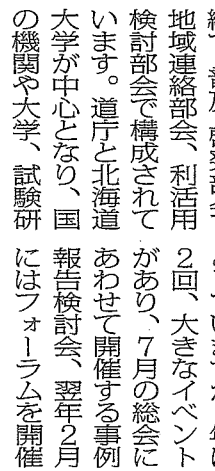
北海道のバイオマス 第1回

北海道では、バイオマスへの取組みが進んでいる。道庁は、産学官の連携組織であるバイオマスネットワーク会議を運営、さらにバイオマスのワンストップの窓口も設置した。また、道庁や市町村の取組みを支援し、バイオマスの普及・啓発などに取り組むNPOバイオマス北海道(理事長・古市徹北海道大学名誉教授)の活躍も注目されている。さらに、道内の鹿追町、十幌町、別海町、下川町では、バイオマスの利活用が進む。本紙では6回にわたり、北海道庁、NPOバイオマス北海道、市町村によるバイオマス事業への取組みを紹介する(本紙編集部)。

北海道庁の取組 産学官で連携組織

北海道庁ではバイオマスの普及・促進に積極的に取り組んでい環境局循環型社会推進課バイオマスグループの北創主幹に話を聞いた。バイオマスネットワーク会議を組織するとともに、道庁内にバイオマスワンストップ窓口を設置するなど、事業をよりスムーズに展開するためツールを用意されて

北創主幹



非常に好評をいただいた場、事例報告検討会やフォーラムがある時、バイオマスに関する関係各官、道庁など中心に活動していただいている。バイオマスに関する補助制度があり、バイオマスに関する関係各官、道庁など中心に活動していただいている。バイオマスに関する補助制度があり、バイオマスに関する関係各官、道庁など中心に活動していただいている。バイオマスに関する補助制度があり、バイオマスに関する関係各官、道庁など中心に活動していただいている。

す。さらに、情報発信であれば提供しており、メールマガジンを発行して、バイオマスに関する情報を提供している。情報誌「HB New」も発行しており、事例報告やフォーラムの開催報告をウェブサイトに掲載しています。地域連絡部会は、自治体間の情報交換の場として、視察に行き、バイオマス北海道と

バイオマスを取り組んでいく自治体を継続的に応援するもので、ワーキンググループが2つあります。道庁のワンストップ窓口について教えて下さい。

北主幹「道庁では、バイオマスに関するバイオマスアドバイザリションは、農産・畜産の派遣事業を始めました。これは、バイオマスの取組みにあたり、バイオマスは水産林務部、環境リサイクル産業と新エネルギーは経済部、廃棄物系バイオマスと地球温暖化対策部、市民とワーキンググループをやるので講師を

派遣して欲しい、具体的にバイオマス関連の施設を建設する、施設に問題がある場合など、どんな場合でも対応できるように畜産系、木質系、廃棄物系などの専門家十数名がいま市町村に派遣します。市町村に派遣しますが、派遣のため経費をなくすのではなく、何かあればワンストップ窓口であるバイオマスグループに聞いて下さい。

積極的な取組みを進めています。市町村からの評判はいいですか。

北主幹「バイオマスの取組みについての方法は、はっきりと分かっては、手探りで始める自治体が多いです。そういった時に専門家がいら、また先行している自治体の事例を参考にできるなど、初期に不足している情報が得られ、役に立っていると聞いています」